

[平成23年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

秋田県立大学大学院 生物資源科学研究科 生物資源科学専攻(M)(D)

注2

### 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人 秋田県立大学  
平成23年5月13日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	教育本部教務チーム
職名・氏名	ササキ ナオト 佐々木 直人
電話番号	018-872-1500
（夜間）	018-872-1500
F A X	018-872-1670
e-mail	naoto-s@akita-pu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」  
「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	8
	博士前期課程	8
	博士後期課程	13
3	施設・設備の整備状況、経費	16
4	既設大学等の状況	18
5	教員組織の状況	20
	博士前期課程	20
	博士後期課程	28
	共通	31
6	留意事項に対する履行状況等	33
7	その他全般的事項	34

## 〔参考資料〕

- ・秋田県立大学教務・学生委員会規程
- ・秋田県立大学教務・学生委員会ファカルティ・デベロップメント  
専門部会設置要綱

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人 秋田県立大学

## (2) 大学名

秋田県立大学大学院

## (3) 大学の位置

〒010-0195

秋田県秋田市下新城中野字街道端西241番438

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(コバヤシ シュンイチ) 小林 俊一 (平成18年4月就任)	(コマ アツシ) 小間 篤 (平成23年4月就任)	任期満了に伴う改選(23) (退任：平成23年3月31日) (就任：平成23年4月1日)
学長	(コバヤシ シュンイチ) 小林 俊一 (平成18年4月就任)	(コマ アツシ) 小間 篤 (平成23年4月就任)	任期満了に伴う改選(23) (退任：平成23年3月31日) (就任：平成23年4月1日)
研究科長	(サトウ サトル) 佐藤 了 (平成20年4月就任)		
学科長等	(該当なし)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成21年度開設の博士後期課程の場合(平成23年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画		備考	
	修業年限	入学定員		収容定員
生物資源科学研究科 生物資源科学専攻 (博士前期課程)  修士(生物資源科学)	2年	28人	56人	基礎となる学部等 生物資源科学部 応用生物科学科 生物生産科学科 生物環境科学科 アグリビジネス学科 木材高度加工研究所

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成23年度	平成24年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	28人 若干名 ( - ) [ - ]	人 人 ( ) [ ]			0.64倍	
志願者数	21 ( - ) [ 1 ]	0 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	19 ( - ) [ 1 ]	0 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	19 ( - ) [ 1 ]	0 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	18 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.64					

- (注) ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 18	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
計	[ - ] 18	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [ 1 ] 1	(累積)計 [ 0 ] 18	5.6%
	うち平成23年度入学者 1人	うち平成23年度 0人	
	(主な退学理由) ・除籍		
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成21年度開設の博士後期課程の場合(平成23年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画		備考	
	修業年限	入学定員		収容定員
生物資源科学研究科 生物資源科学専攻 (博士後期課程)  博士(生物資源科学)	3年	5人	15人	基礎となる学部等 生物資源科学部 応用生物科学科 生物生産科学科 生物環境科学科 アグリビジネス学科 木材高度加工研究所

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	5人 ( - ) [ - ]	若干名	人	人	人	人	0.20倍	
志願者数	1 ( - ) [ 1 ]	0 ( - ) [ - ]	( )	( )	( )	( )		
受験者数	1 ( - ) [ 1 ]	0 ( - ) [ - ]	( )	( )	( )	( )		
合格者数	1 ( - ) [ 1 ]	0 ( - ) [ - ]	( )	( )	( )	( )		
B 入学者数	1 ( - ) [ 1 ]	0 ( - ) [ - ]	( )	( )	( )	( )		
入学定員超過率 B/A	0.20							

- (注) ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 1 ] 1	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次	/		/		[ ]	[ ]	
計	[ 1 ] 1	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [ 0 ] 0	(累積)計 [ 1 ] 1	0%
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 1人	
	(主な退学理由)		
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			
平成25年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<生物資源科学研究科 博士前期課程 生物資源科学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	(テクニカルスキル領域)											
	実践英語 A	1前		2								兼任1
	英語プレゼンテーション A	1後		2								兼任1
	科学技術マネジメント入門	1前		2		2	0					昇任に伴う職位変更 (23.4) 中沢伸重 (准教授→教授)
	(教養領域)											
	風土・文化構造論	1・2後		2								隔年開講 (H23後期開講予定) ・兼任1
	科学技術と倫理	1・2前		2								隔年開講 ・兼任1
	感性情報と環境の心理	1・2前		2								隔年開講 (H24前期開講予定) ・兼任1
	地域社会と家族	1・2後		2								隔年開講 (H24後期開講予定) ・兼任1
	生体情報と運動の生理	1・2前		2								隔年開講 (H24前期開講予定) ・兼任1
	(実験・実習領域)											
	放射線と同位体の科学	1前		1			1					
	遺伝子取扱法及び遺伝子組換え技術	1前		1		1						
	電子顕微鏡操作法及び組織化学・細胞化学	1後		1		1						
	有機・無機化学物質取扱法	1前		1		2	2					退職 (23.3) に伴い、教員を追加 (23.4) 削除：谷田貝光克 (教授) 追加：田母神 繁 (教授)
先端的培養・栽培実験法	1後		1		1	1						
現代統計・空間解析法	1後		1			2						
先進農業調査実習	1前		1		2	2						
生物材料利用学実習	1前		1		1	2						
(生物機能学領域)												

専門科目	物理計測学	1前	2	1	2	
	生物材料学	1前	2	3	1	
	天然有機化合物・生合成の化学	1前	2	2	1	
	化学生態学	1前	2	1	2	
	生命科学最前線	1前	2	1	2	
	植物生理・遺伝子制御学	1前	2	2	2	
	動物の分子科学	1前	2	1	3	
	共生生物学	1前	2	2	2	
	応用分子生命科学	1前	2	1	2	
	応用微生物学特論	1前	2	3 2	0 1	昇任に伴う職位変更 (23.4) 中沢伸重 (准教授→教授)
	微生物生態学	1前	2		3	
	(植物科学領域)					
	植物遺伝育種学	未開講 1前	2	1	2	履修希望者がいなかったため(23)
	植物医科学	1前	2	2	1	
	植物資源開発・管理科学	1前	2	2	1	
	園芸生産技術論	1前	2	1	2	
	(環境科学領域)					
	物質環境化学	1前	2		3	
	陸域生態系解析論	1前	2	3		
	環境管理修復論	1前	2	2	2	
	地域資源循環活用論	1前	2	3		
生態系環境科学特論	1後 1前	1	2		履修しやすいよう開講時期を変更(23) 隔年開講	
地域環境科学特論	1後 1前	1	2		履修しやすいよう開講時期を変更(23) 隔年開講 (H24開講予定)	
(森林・木材科学領域)						

	木質材料・構造論	未開講 1前		2		4			履修希望者がいなかったため(23)
	森林資源循環論	1前		2		2	1		昇任に伴う職位変更(23.4) 栗本康司(准教授→教授)
	(アグリビジネス学領域)								
	フィールド農学序説	1前		2		3	1		
	土地利用型農業経営論	1前		2		3	1		
	農村環境保全整備論	1前		2		2	2		昇任に伴う職位変更(23.4) 露崎浩(准教授→教授)
	食と農のマネジメント論	1前		2		2	2		
	(秋田学領域)								
	秋田農林水産学	1前		2		3			
	食品機能・評価論	1前		2		2			
	八郎湖流域管理学	1前		2		3			
	地域活性化システム特論 地域再生システム特論	1後		2		1			講義内容に即して科目名変更(23.4) 兼任1
研究	課題研究(修士論文)	1~2通	8			38 36	43 45		退職に伴う専任教員削除(23.3) 阿部達也(教授) 中村保典(教授) 谷田貝光克(教授) 端 憲二(教授) 採用に伴う専任教員追加(24.4) 穂坂正博(教授) 昇任に伴う職位変更(24.4) 村田 純(准教授→教授) 中沢伸重(准教授→教授) 鈴木英治(准教授→教授) 露崎 浩(准教授→教授) 栗本康司(准教授→教授) 石川匡子(助教→准教授) 小川敦史(助教→准教授) 兼任から専任教員へ変更(24.4) 渡辺明夫(准教授)
	生物資源科学演習	1~2通	8			38 36	43 45		退職に伴う専任教員削除(23.3)



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<生物資源科学研究科 博士後期課程 生物資源科学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	実践英語Ⅱ	1前		2								兼任1
	科学英語プレゼンテーション	1後		2								兼任1
研究・演習科目	生物資源科学演習	1~3通	6			29 27	22 24					退職に伴う専任教員削除(23.3) 阿部達也(教授) 中村保典(教授) 谷田貝光克(教授) 採用に伴う専任教員追加(24.4) 穂坂正博(教授) 昇任に伴う職位変更(24.4) 村田 純(准教授→教授) 中沢伸重(准教授→教授) 鈴木英治(准教授→教授) 栗本康司(准教授→教授) 兼任から専任教員へ変更(24.4) 岩崎郁子(准教授) 澁谷 栄(准教授)
	課題研究(博士論文)	1~3通	10			29 27	22 24					退職に伴う専任教員削除(23.3) 阿部達也(教授) 中村保典(教授) 谷田貝光克(教授) 採用に伴う専任教員追加(24.4) 穂坂正博(教授) 昇任に伴う職位変更(24.4) 村田 純(准教授→教授) 中沢伸重(准教授→教授) 鈴木英治(准教授→教授) 栗本康司(准教授→教授) 兼任から専任教員へ変更(24.4) 岩崎郁子(准教授) 澁谷 栄(准教授)

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)に

についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	2	0	4	2	2	0	4	
				[増減なし]	[増減なし]	[増減なし]	[増減なし]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	372,064 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	372,064 m <sup>2</sup>			
	運 動 場 用 地	300,119 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	300,119 m <sup>2</sup>			
	小 計	672,183 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	672,183 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	2,146,572 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	2,146,572 m <sup>2</sup>			
	合 計	2,818,755 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	2,818,755 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎	専 用	91,649 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	91,649 m <sup>2</sup>			
	( 91,649 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 91,649 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	4 室	3 室	19 室	2 室 (補助職員 1人)	0 室 (補助職員 -人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	生物資源科学研究科生物資源科学専攻			81 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				点
	生物資源科学研究科 生物資源科学専攻	137,700 [23,700] (126,513 [20,963])	4,800 [3,500] (5,133 [3,002])	3,100 [3,100] (2,403 [2,403])	2,800 ( 2,621 )	1,600 ( 1,600 )	- ( - )	
	計	137,700 [23,700] (126,513 [20,963])	4,800 [3,500] (5,133 [3,002])	3,100 [3,100] (2,403 [2,403])	2,800 ( 2,621 )	1,600 ( 1,600 )	- ( - )	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	2,932 m <sup>2</sup>		284		169,167			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,761 m <sup>2</sup>		トレーニングルーム 106m <sup>2</sup> (1室)		テニスコート 4 面			
			野球場 1面 (両翼100m)		陸上競技場 1面 (400m/周)			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	1,193千円 1,150千円	1,150千円	図書購入費	19,000千円	19,850千円 19,000千円	19,000千円
		共同研究費等	128,064千円 137,000千円	137,000千円	設備購入費	5,620千円	6,690千円	6,330千円
	学生1人 当り 納付金	第1年次		第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		M	989 千円	536 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円
		D	989 千円	536 千円	536 千円	- 千円	- 千円	- 千円
	学生納付金以外の維持方法の概要			運営費交付金(秋田県)、受託研究等事業収入 等				

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。

- なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	秋田県立大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
システム科学技術研究科						1.05				
機械知能システム学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.04	平成11年度	秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84番4		
電子情報システム学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.04	平成11年度			
建築環境システム学科	4	40	-	160	学士(工学)	1.02	平成11年度			
経営システム工学科	4	40	-	160	学士(工学)	1.10	平成11年度			
生物資源科学部						1.07				
応用生物科学科	4	40	-	160	学士(生物資源科学)	1.06	平成11年度	秋田県秋田市下新城中野字街道端西241番438		
生物生産科学科	4	40	-	160	学士(生物資源科学)	1.06	平成11年度			
生物環境科学科	4	30	-	120	学士(生物資源科学)	1.09	平成11年度			
アグリビジネス学科	4	40	-	160	学士(農学)	1.08	平成18年度			
大学の名称	秋田県立大学大学院								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
システム科学技術研究科										
博士前期課程						1.26				
機械知能システム学専攻	2	18	-	36	修士(工学)	1.44	平成14年度	秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84番4		
電子情報システム学専攻	2	18	-	36	修士(工学)	1.13	平成14年度			
建築環境システム学専攻	2	7	-	14	修士(工学)	1.42	平成14年度			
経営システム工学専攻	2	7	-	14	修士(工学)	0.92	平成14年度			
博士後期課程						0.62				
総合システム科学専攻	3	8	-	24	博士(工学)	0.62	平成14年度			
生物資源科学研究科										
博士前期課程						0.64				
生物機能科学専攻	2	-	-	-	修士(生物資源科学)	-	平成15年度	秋田県秋田市下新城中野字街道端西241番438	平成23年より学生募集停止	
遺伝資源科学専攻	2	-	-	-	修士(生物資源科学)	-	平成15年度		平成23年より学生募集停止	
生物資源科学専攻	2	28	-	56	修士(生物資源科学)	0.64	平成23年度			
博士後期課程						0.20				
生物機能科学専攻	3	-	-	-	博士(生物資源科学)	-	平成15年度		平成23年より学生募集停止	
遺伝資源科学専攻	3	-	-	-	博士(生物資源科学)	-	平成15年度		平成23年より学生募集停止	
生物資源科学専攻	3	5	-	15	博士(生物資源科学)	0.20	平成23年度			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- （専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
  - ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「－」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<生物資源科学研究科 生物資源科学専攻（博士前期課程）>

### (1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	小嶋郁夫 ( 歳)	平成23年4月	応用微生物学特論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	阿部達也 ( 歳)	平成23年4月	動物の分子科学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	専	准教授	横尾正樹 ( 歳)	平成23年4月	動物の分子科学	平成23年3月 阿部達也教授辞任 平成23年4月 穂坂正博教授採用のため 平成23年度より担当者の 変更(23)
					専	教授	穂坂正博 ( 歳)	平成23年4月	課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	
専	教授	岡野桂樹 ( 歳)	平成23年4月	電子顕微鏡操作法及び組織化学・細胞化学 生命科学最前線 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	吉澤結子 ( 歳)	平成23年4月	科学技術マネジメント入門 有機・無機化学物質取扱法 天然有機化合物・生成の化学 応用分子生命科学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	稲元民夫 ( 歳)	平成23年4月	共生生物学 応用微生物学特論 秋田農林水産学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	秋山美展 ( 歳)	平成23年4月	食品機能・評価論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	橋爪克己 ( 歳)	平成23年4月	課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	陳 介余 ( 歳)	平成23年4月	物理計測学 食品機能・評価論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	服部浩之 ( 歳)	平成23年4月	有機・無機化学物質取扱法 植物資源開発・管理科学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	古屋廣光 ( 歳)	平成23年4月	植物医科学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						

専	教授	森田弘彦 (歳)	平成23年4月	植物資源開発・管理科学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	専	教授	森田弘彦 (歳)	平成23年4月	植物資源開発・管理科学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	
専	教授	赤木宏守 (歳)	平成23年4月	遺伝子動態法及び遺伝子組換え技術 植物遺伝育種学 秋田農林水産学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	中村保典 (歳)	平成23年4月	植物生理・遺伝子制御学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	専	准教授	藤田直子 (歳)	平成23年4月	植物生理・遺伝子制御学 課題研究(修士論文)	平成23年3月 中村保典教授辞任のため 平成23年度より担当者の 変更(23)
				専	教授	鈴木英治 (歳)	平成23年4月	生物資源科学演習(M)		
専	教授	我彦廣悦 (歳)	平成23年4月	植物生理・遺伝子制御学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	田母神 繁 (歳)	平成23年4月	化学生態学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	専	教授	田母神繁 (歳)	平成23年4月	化学生態学 天然有機化合物・生合成の化学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	平成23年3月 谷田貝光克教授辞任のため 平成23年度より担当者の 変更(23)
専	教授	山本好和 (歳)	平成23年4月	先端的培養・栽培実験法 共生生物学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	片野 登 (歳)	平成23年4月	陸域生態系解析論 八郎湖流域管理学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	金田吉弘 (歳)	平成23年4月	植物医科学 陸域生態系解析論 地域資源循環活用論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	蒔田明史 (歳)	平成23年4月	陸域生態系解析論 地域資源循環活用論 生態系環境科学特論 地域環境科学特論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						

専	教授	尾崎保夫 (歳)	平成23年4月	陸域生態系解析論 地域資源循環活用論 生態系環境科学特論 地域環境科学特論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	専	教授	尾崎保夫 (歳)	平成23年4月	陸域生態系解析論 地域資源循環活用論 生態系環境科学特論 地域環境科学特論 フィールド農学序説 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	平成23年3月 端憲二教授辞任のため 平成23年度より担当者の 変更(23)
専	教授	日高伸 (歳)	平成23年4月	環境管理修復論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	専	教授	日高伸 (歳)	平成23年4月	環境管理修復論 農村環境保全整備論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	平成23年3月 端憲二教授辞任のため 平成23年度より担当者の 変更(23)
専	教授 (研究 科長)	佐藤了 (歳)	平成23年4月	地域資源循環活用論 八郎湖流域管理学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	谷口吉光 (歳)	平成23年4月	地域再生システム特論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	専	教授	谷口吉光 (歳)	平成23年4月	地域活性化システム特論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	科目名変更(23)
専	教授	高橋春賢 (歳)	平成23年4月	先進農業調査実習 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	佐藤照男 (歳)	平成23年4月	農村環境保全整備論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	長濱健一郎 (歳)	平成23年4月	先進農業調査実習 土地利用型農業経営論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	鵜川洋樹 (歳)	平成23年4月	土地利用型農業経営論 食と農のマネジメント論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	荒樋豊 (歳)	平成23年4月	フィールド農学序説 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	津田涉 (歳)	平成23年4月	園芸生産技術論 食と農のマネジメント論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						
専	教授	小林由喜也 (歳)	平成23年4月	フィールド農学序説 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)						

専	教授	端 憲二 ( 歳)	平成23年4月	フィールド農学序説	専	教授	尾崎保夫 ( 歳)	平成23年4月	フィールド農学序説	平成23年3月 端憲二教授辞任のため 平成23年度より担当者の 変更 (23)	
				農村環境保全整備論	専	教授	日高 伸 ( 歳)	平成23年4月	農村環境保全整備論		
				課題研究 (修士論文)			後任未定		課題研究 (修士論文)		研究指導は関連分野の 専任教員が担当する。
				生物資源科学演習 (M)						生物資源科学演習 (M)	
専	教授	中村 昇 ( 歳)	平成23年4月	生物材料利用学実習							
				生物材料学							
				課題研究 (修士論文)							
				生物資源科学演習 (M)							
専	教授	山内 繁 ( 歳)	平成23年4月	生物材料学							
				課題研究 (修士論文)							
				生物資源科学演習 (M)							
専	教授	高田克彦 ( 歳)	平成23年4月	生物材料学							
				課題研究 (修士論文)							
				生物資源科学演習 (M)							
専	教授	谷田貝光克 ( 歳)	平成23年4月	天然有機化合物・生成の化学	専	教授	田母神 繁 ( 歳)	平成23年4月	天然有機化合物・生成の化学	平成23年3月 谷田貝光克教授辞任のため 平成23年度より担当者の 変更 (23)	
				課題研究 (修士論文)	専	教授	栗本康司 ( 歳)	平成23年4月	課題研究 (修士論文)		
				生物資源科学演習 (M)					生物資源科学演習 (M)		
専	教授	飯島泰男 ( 歳)	平成23年4月	森林資源循環論							
				秋田農林水産学							
				課題研究 (修士論文)							
				生物資源科学演習 (M)							
専	准教授	小林正之 ( 歳)	平成23年4月	動物の分子科学							
				課題研究 (修士論文)							
				生物資源科学演習 (M)							
専	准教授	村田 純 ( 歳)	平成23年4月	動物の分子科学	専	教授	村田 純 ( 歳)	平成23年4月	動物の分子科学	平成23年4月 昇任 (23)	
				課題研究 (修士論文)					課題研究 (修士論文)		
				生物資源科学演習 (M)					生物資源科学演習 (M)		
専	准教授	村口 元 ( 歳)	平成23年4月	動物の分子科学							
				課題研究 (修士論文)							
				生物資源科学演習 (M)							
専	准教授	王 敬銘 ( 歳)	平成23年4月	化学生態学							
				課題研究 (修士論文)							
				生物資源科学演習 (M)							
専	准教授	福島 淳 ( 歳)	平成23年4月	応用分子生命科学							
				微生物生態学							
				課題研究 (修士論文)							
				生物資源科学演習 (M)							
専	准教授	水野幸一 ( 歳)	平成23年4月	放射線と同位体の科学							
				生命科学最前線							
				課題研究 (修士論文)							
				生物資源科学演習 (M)							

専	准教授	中沢伸重 ( 歳)	平成23年4月	科学技術マネジメント入門 応用微生物学特論 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)	専	教授	中沢伸重 ( 歳)	平成23年4月	科学技術マネジメント入門 応用微生物学特論 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)	平成23年4月 昇任 (23)
専	准教授	張 茵 ( 歳)	平成23年4月	物理計測学 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)						
専	准教授	岩崎郁子 ( 歳)	平成23年4月	課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)						
専	准教授	中村進一 ( 歳)	平成23年4月	課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)						
専	准教授	藤 晋一 ( 歳)	平成23年4月	微生物生態学 植物医科学 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)						
専	准教授	三吉一光 ( 歳)	平成23年4月	植物資源開発・管理科学 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)						
専	准教授	高橋秀和 ( 歳)	平成23年4月	植物遺伝育種学 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)						
専	准教授	櫻井健二 ( 歳)	平成23年4月	植物遺伝育種学 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)						
専	准教授	鈴木英治 ( 歳)	平成23年4月	植物生理・遺伝子制御学 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)	専	教授	鈴木英治 ( 歳)	平成23年4月	植物生理・遺伝子制御学 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)	平成23年4月 昇任 (23) 公募により後任を採用予定 採用までの間、鈴木英治 教授が研究指導を行うため 支障はない。
専	准教授	藤田直子 ( 歳)	平成23年4月	植物生理・遺伝子制御学 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)						
専	准教授	阿部 誠 ( 歳)	平成23年4月	有機・無機化学物質取扱法 化学生態学 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)						
専	准教授	小峰正史 ( 歳)	平成23年4月	先端的培養・栽培実験法 物理計測学 共生生物学 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)						
専	准教授	木口 倫 ( 歳)	平成23年4月	物質環境化学 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)						

専	准教授	佐藤 孝 ( 歳)	平成23年4月	有機・無機化学物質取扱法 共生生物学 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)							
専	准教授	星崎和彦 ( 歳)	平成23年4月	現代統計・空間解析法 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)							
専	准教授	宮田直幸 ( 歳)	平成23年4月	微生物生態学 物質環境化学 環境管理修復論 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)							
専	准教授	石川祐一 ( 歳)	平成23年4月	現代統計・空間解析法 物質環境化学 環境管理修復論 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)	専	准教授	石川祐一 ( 歳)	平成23年4月	現代統計・空間解析法 物質環境化学 環境管理修復論 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)		
専	准教授	中村勝則 ( 歳)	平成23年4月	課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)	専	准教授	中村勝則 ( 歳)	平成23年4月	課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)		
専	准教授	小西智一 ( 歳)	平成23年4月	課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)	専	准教授	小西智一 ( 歳)	平成23年4月	課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)		
専	准教授	Youssefian Shohab ( 歳)	平成23年4月	応用分子生命科学 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)							
専	准教授	露崎 浩 ( 歳)	平成23年4月	土地利用型農業経営論 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)	専	教授	露崎 浩 ( 歳)	平成23年4月	土地利用型農業経営論 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)	平成23年4月 昇任 (23)	
専	准教授	神田啓臣 ( 歳)	平成23年4月	園芸生産技術論 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)							
専	准教授	吉田康徳 ( 歳)	平成23年4月	園芸生産技術論 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)							
専	准教授	濱野美夫 ( 歳)	平成23年4月	動物の分子科学 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)							
専	准教授	横尾正樹 ( 歳)	平成23年4月	課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)	専	准教授	横尾正樹 ( 歳)	平成23年4月	動物の分子科学 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)	平成23年3月 阿部達也教授辞任 平成23年度より担当者の 変更 (23)	
専	准教授	近藤 正 ( 歳)	平成23年4月	先進農業調査実習 農村環境保全整備論 課題研究 (修士論文) 生物資源科学演習 (M)							

専	准教授	永吉武志 (歳)	平成23年4月	農村環境保全整備論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)							
専	准教授	佐藤加寿子 (歳)	平成23年4月	土地利用型農業経営論 食と農のマネジメント論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)							
専	准教授	酒井 徹 (歳)	平成23年4月	食と農のマネジメント論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)							
専	准教授	今西弘幸 (歳)	平成23年4月	先進農業調査実習 フィールド農学序説 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)							
専	准教授	保田謙太郎 (歳)	平成23年4月	課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)							
専	准教授	栗本康司 (歳)	平成23年4月	森林資源循環論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	専	教授	栗本康司 (歳)	平成23年4月	森林資源循環論	平成23年4月 昇任(23)	公券により後任を採用予定 採用までの間、栗本康司 教授が研究指導を行うため 支障はない。
専	准教授	川井安生 (歳)	平成23年4月	生物材料学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)			後任未定				
専	准教授	澁谷 栄 (歳)	平成23年4月	生物材料利用学実習 天然有機化合物・生成の化学 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)							
専	准教授	渡辺千明 (歳)	平成23年4月	木質材料・構造論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)							
専	准教授	岡崎泰男 (歳)	平成23年4月	木質材料・構造論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)							
専	准教授	山内秀文 (歳)	平成23年4月	生物材料利用学実習 木質材料・構造論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)							
専	准教授	佐々木貴信 (歳)	平成23年4月	木質材料・構造論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)							
専	准教授	川鍋亜衣子 (歳)	平成23年4月	森林資源循環論 課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)							
					専	准教授	石川匡子 (歳)	平成23年4月	課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)		平成23年4月 専任教員に追加(23)

					専 准教授	渡辺明夫 ( 歳)	平成23年4月	課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	平成23年4月 専任教員に追加(23)
					専 准教授	小川敦史 ( 歳)	平成23年4月	課題研究(修士論文) 生物資源科学演習(M)	平成23年4月 専任教員に追加(23)

- (注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・年齢は、「**届出時の計画**」には**開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)**を、「**変更状況**」には**平成23年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
  - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

## (2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
81	—	81	—	81	—	81	—	
( 81 )	( — )	( 81 )	( — )	[増減なし]	[ — ]	[増減なし]	[ — ]	

- (注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

## 5 教員組織の状況

<生物資源科学研究科 生物資源科学専攻（博士後期課程）>

### (1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	小嶋郁夫 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	阿部達也 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)	専	教授	穂坂正博 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)	平成23年3月 阿部達也教授辞任 平成23年4月 穂坂正博教授採用のため 平成23年度より担当者の 変更(23)
専	教授	吉澤結子 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	稲元民夫 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	秋山美展 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	橋爪克己 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	陳 介余 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	服部浩之 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	古屋廣光 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	森田弘彦 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)	専	教授	森田弘彦 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)	
専	教授	赤木宏守 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	中村保典 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)	専	教授	鈴木英治 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)	平成23年3月 中村保典教授辞任 平成23年4月 鈴木英治教授昇任のため 平成23年度より担当者の 変更(23)
専	教授	我彦廣悦 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	田母神 繁 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	山本好和 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	片野 登 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	金田吉弘 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	蒔田明史 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	尾崎保夫 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	日高 伸 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	佐藤 了 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	教授	谷口吉光 (歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						



専	准教授	佐々木貴信 ( 歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
専	准教授	川鍋亜衣子 ( 歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)						
					専	准教授	岩崎郁子 ( 歳)	平成23年4月	課題研究(博士論文) 生物資源科学演習(D)	平成23年4月 専任教員に追加(23)
兼任	准教授	Youssefian Shohab ( 歳)	平成23年4月	科学英語プレゼンテーション						

- (注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

## (2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
51	—	51	—	51	—	51	—	
( 50 )	( — )	( 50 )	( — )	[増減なし]	[ — ]	[増減なし]	[ — ]	

- (注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)



(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	阿部 達也	自己都合
2	教授	中村 保典	定年
3	教授	谷田貝 光克	定年
4	教授	端 憲二	自己都合

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任した専任教員の担当科目及び研究指導については、専任教員の採用、昇任及び担当者の変更により後任の者を概ね確保しており、学生の履修等に影響を及ぼすことなく行うことができる。  
なお、学生向けには、募集要項のほか、4月に実施したオリエンテーションで周知済である。

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<生物資源科学研究科 生物資源科学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>①教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>博士後期課程の教育プログラムとして、以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博士候補審査会（仮称）</li> <li>・研究力錬成（仮称）セミナー</li> <li>・学外研修制度（仮称）</li> </ul> <p>②大学院において取得できる教員免許状 高等学校専修免許（理科）、同（農業）</p>	<p>以下のとおりプログラム名称を決定するとともに、実施要領等を定め、平成23年度から実施することとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「博士候補審査会」→「後期課程中間発表会」</li> <li>・「研究力錬成セミナー」→「特別セミナー」</li> <li>・「学外研修制度」→「学外での研究研修制度」</li> </ul> <p>平成23年1月28日付けで課程認定を受けた。</p>

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>秋田県立大学教務・学生委員会規程 秋田県立大学教務・学生委員会ファカルティ・デベロップメント専門部会設置要綱</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>教務・学生委員会：概ね四半期に一度開催 FD専門部会：年度当初に定例開催、必要に応じて随時開催 FD専門部会生物資源科学分会：年度当初に定例開催、必要に応じて随時開催</p> <p>c 委員会の審議事項等 （FD専門部会審議事項）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 FDの啓蒙及び周知に関すること</li> <li>2 FD事業の基本計画及び実施計画の策定並びに総括に関すること</li> <li>3 FD事業の実施及び取りまとめに関すること</li> <li>4 その他FDに関すること</li> </ol> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師によるFD講演会</li> <li>・シラバスの充実に向けた企画立案</li> <li>・オフィスアワーの実施</li> <li>・学生を対象とした授業アンケートの実施</li> </ul>
---

- ・他教員の授業を参観する授業公開の実施
- ・教職員研修会の実施
- ・クリッカーの導入及び管理
- ・その他、学外FDセミナーへの参加等

b 実施方法

FD専門部会（全学組織）でFD活動の基本方針を決定し、その基本方針の下、生物資源科学分会において学部・研究科内のFD事業実施計画を定め、実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成23年度の事業計画は概ね前年度と同様の事業実施を予定している。

平成22年度の事業実績は以下のとおりである。

（平成22年度実績）

- ・FD後援会「教育改善のためのティーチング・ポートフォリオ」  
開催日：平成22年9月30日 講師：東京農工大学 加藤由香里氏 参加者数：43名
- ・授業アンケート：既存専攻修了生（前期課程21名、後期課程1名）全員から回収
- ・授業参観：7件
- ・教職員研修会「ティーチング・ポートフォリオを作ってみませんか」  
開催日：平成22年12月3日 内容：ティーチング・ポートフォリオ作成のためのワークショップ  
参加者数：22名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成23年1月に大阪府立高専で開催されたティーチング・ポートフォリオ（TP）作成ワークショップに研究科専任教員1名を派遣してメンター養成に着手した。平成23年度から具体的にTP作成を推進していく予定である。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(平成21年度自己点検・評価報告書(平成22年4月)より抜粋)

生物資源科学研究科は平成23年度から現行の2専攻を1専攻に統合する。

新たなアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーを策定した上で、より具体的な能力や資格の取得に結びつく履修コースを提示し、学生や社会のニーズに柔軟に対応した教育体制とカリキュラムを提供する計画である。

とりわけ後期課程については定員の見直しも行き、新たな教育方法として、関連分野の教員も含めた個別学生ごとのチームティーチング体制を組み、責任ある教育により知識と人格において高い素養を身につけた博士号取得者を指すこととしている。

このような教育課程の充実と質的改善を怠らぬ熱意と努力こそが、本学大学院が標榜する理念と目標の実現を確実にするものとする。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表(予定)時期

- ・平成22年4月 公表済

##### b 公表方法

- ・大学ホームページに公表

#### ③ 認証評価を受ける計画

平成22年度に認証評価機関(財団法人大学基準協会)の評価を受け、平成23年4月1日付けで、大学基準に適合していると判定されている。

次回は、平成29年度に評価を受ける予定である。

(注) ・ 届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (4) 情報提供に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成23年 5月 31日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.akita-pu.ac.jp/houjin/houjin050000.htm>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

# 秋田県立大学教務・学生委員会規程

平成18年 4月 1日

規程第142号

改正 平成20年 4月 1日

## (設置)

第1条 秋田県立大学に教務・学生委員会（以下「委員会」という。）を置く。

## (審議事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育課程及び授業科目の履修等に関すること。
- (2) 学生の入学、休学、転学、卒業等に関すること。
- (3) 学生の課外活動及び学生の団体に関すること。
- (4) 学生の保健管理に関すること。
- (5) 学生の奨学金に関すること。
- (6) 学生の就職に関すること。
- (7) その他教務、厚生及び補導並びに就職に関すること。

## (組織)

第3条 委員会の委員は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 教育本部長
  - (2) 学部ごとの教員（但し、教授又は准教授に限る。以下同じ。）のうちから選出された者各1名
  - (3) 研究科ごとに教員のうちから選出された者各1名
  - (4) 総合科学教育研究センターの教員のうちから選出された者1名
  - (5) 木材高度加工研究所の教員のうちから選出された者1名
- 2 前項第2号から第5号までに掲げる委員は、各学部長、各研究科長、総合科学教育研究センター長、木材高度加工研究所長の推薦に基づき教育本部長が指名する。

## (任期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 委員に欠員が生じた場合には、教育本部長は、前条の方法により補欠の委員を指名する。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、教育本部長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故のあるときは、あらかじめ委員長の指名を受けた者がその職務を代理する。

## (議事)

第6条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数を持って決し、可否同数のときは、議長の決

するところによる。

(専門部会)

第7条 委員会に、専門の事項を審議させるため必要があるときは、専門部会を置くことができる。

2 専門部会の組織及び運営については、委員長が定める。

(関係者の意見聴取)

第8条 委員会は、必要に応じ、委員以外の者を出席させ、説明を求め、又はその意見を聴くことができる。

(議事要旨)

第9条 委員会の議事要旨は、事務局職員が作成し、教育本部長が保管する。

(会議の非公開)

第10条 委員会の会議は、公開しない。

(委任)

第11条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育本部長が定める。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

秋田県立大学教務・学生委員会ファカルティ・  
デベロップメント専門部会設置要綱

平成18年4月 1日  
秋田県立大学教育本部長決定  
改正 平成20年12月 1日

(設置)

**第1条** 大学として教育内容改善の組織的取り組みを実施する等のため、秋田県立大学教務・学生委員会にファカルティ・デベロップメント専門部会（以下「部会」という。）を置く。

(審議事項)

**第2条** 部会は、次に掲げる事項を審議する。

- 一 ファカルティ・デベロップメント（以下「FD」という。）の啓蒙及び周知に関すること。
- 二 FD事業の基本計画及び実施計画の策定並びに総括に関すること。
- 三 FD事業の実施及び取りまとめに関すること。
- 四 その他FDに関すること。

(組織)

**第3条** 部会は、次に掲げる委員5名をもって組織し、うち2名は、第10条第3項各号に掲げる区分ごとに、教務・学生委員のうちから選出するものとする。

- 一 各学部の教授及び准教授（以下「専任教員」という。）のうちから選出された者 各1名
- 二 各研究科の専任教員のうちから選出された者 各1名
- 三 総合科学教育研究センター（以下「センター」という。）の専任教員のうちから選出された者 1名

2 前項第1号及び第2号に掲げる委員は学部又は研究科の教授会で、同項第3号に掲げる委員はセンターの協議会でそれぞれ選出する。

(任期)

**第4条** 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(部会長)

**第5条** 部会に部会長を置き、部会長は委員のうちから互選により選出する。

(会議の招集及び議長)

**第6条** 部会は、部会長が招集し、議長となる。

(定足数)

**第7条** 部会は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開くことができない。

(議決)

**第8条** 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

2 事項が特に緊急の処理を必要とするものであるときには、前条及び前項の規定にかかわらず、部会長が適当と認める方法により議決することができる。

(関係者の意見聴取)

**第9条** 部会は、必要に応じ、委員以外の者を出席させ、説明を求め、又はその意見を聴くことができる。

(分会等)

**第10条** 第2条第3号に掲げる事項その他必要な事項を審議するため、部会にシステム科学技術分会及び生物資源科学分会を置く。

2 分会は、各9名以内の分会委員をもって組織する。

3 分会委員は、各学部長が、関係部局の長と合議の上、次の各号に掲げる学部等に属する専任教員のうちから指名する。

一 システム科学技術分会 システム科学技術学部、システム科学技術研究科及びセンター

二 生物資源科学分会 生物資源科学部、生物資源科学研究科、センター及び木材高度加工研究所

4 第4条の規定は、分会委員について準用する。

5 分会に分会長を置き、分会長はその分会に属する分会委員の互選により定める。

(準用)

**第11条** 第6条から第9条までの規定は、分会について準用する。この場合において、「部会」とあるのは「分会」と、「部会長」とあるのは「分会長」と、「委員」とあるのは「分会委員」とそれぞれ読み替えるものとする。

(議事要旨)

**第12条** 部会の議事要旨は、事務職員が作成し、議長の承認を受けた後、教育本部長が保管する。

(会議の非公開)

**第13条** 部会の会議は、公開しない。

(委任)

**第14条** この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、教育本部長が定める。

## 附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成20年12月1日付け一部改正）

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。